

# POLE

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」

第26号 1994, 7, 6

発行

北海道ポーランド文化協会

〒060 札幌市中央区南2東2

河合楽器製作所北海道支社内

電話 011-231-8661

FAX 011-221-4936

## ポーランド訪問団

### 参加募集

POLE前号で概略をお知らせした北海道ポーランド文化協会のポーランド訪問団についての詳細が次のように決定しました。本協会の創設以来6年余にわたって懸案であった事業がやっと実現することになりました。会員あるいは関係者の多数の参加をお願いします。参加希望者はPOLE本号の最終頁の参加申込書に必要事項を記入のうえ至急お送りください。

#### 《旅行期間》

一九九四年九月五日(火)より  
十五日(木)までの十一日間

#### 《旅行日程》

- 五日 成田空港集合。札幌は各自前日に出て東京近辺に一泊が必要。十二時発ポーランド航空特別便にて成田出発。二十一時三十分ワルシヤワ空港着、ホテルフオラム泊。
- 六日 貸切バスでシエラゾバポーラ(シヨパンの生家)を経てポーランド第二の都市ウッチェヘ。グランドホテル泊。ポーランドー日本協会と交流行事。
- 七日 バスで古都クラコフへ。ホテルロイヤルで二泊。市内観光など。

- 八日 オシフィエンチム(アウシユピツ)などへ日帰り旅行。
- 九日 バスで避暑地ザコパネへ、そこで一泊。ポーランド民族舞踊鑑賞と夕食の会。
- 十日 カトリックの聖地として有名なチェンストホバへ、そこで一泊。
- 十一日 バスでワルシヤワへ戻りそこで3泊。夜は交流行事があるかもしれない。
- 十二日 午前中市内バス観光。その後自由行動。近郊への日帰り旅行、ショッピング、音楽会など各自自由に計画。グダンスクその他の希望先へ汽車で一泊旅行を計画することもできる(費用は別途)。
- 十四日 十一時ワルシヤワ空港発、モスクワ空港で約5時間待ち、十九時二十分発成田へ。
- 十五日 九時四十分成田着、解散。そのまま札幌へ帰ることが可能。

今後、準備を進める過程で旅程に少々の変更があるかもしれません。

#### 《参加費》

約二十五万円、あるいはそれ以下。参加費の正確な数値は、参加者数や旅程の確定に応じて決まるが、参加費計算の内訳は次の通りである。

- 国際航空運賃(東京ーワルシヤワ) 一四三、三〇〇円
- ポーランド国内旅行費用 一〇、〇〇〇円

これには交通費、ホテル、通訳が含まれる。参加者数を十名(最少)とした費用で、参加者が増すと安くなり、二十一名では九万円となる。○その他に札幌ー成田間の旅費、成田近辺での一泊、旅行者保険などを各自用意する必要がある。

#### 《その他》

バスポートとビザが必要。有効なバスポートを持っていない場合には、各自で早急に取得する必要がある。ビザも原則として各自がポーランド大使館へ申請し取得することとするが、参加者には取得の方法と申請用紙を訪問団担当運営委員長谷川洋行氏(電話0134-251041)から送る。不明の点はお問い合わせください。なお、旅行の取扱い業者はLOTポーランド航空(東京)です。

#### 《参加申込》

申込期限は七月十五日。  
申込先は訪問団担当運営委員の  
064 札幌市中央区宮の森  
二条十六丁目七の三十の二〇四  
(電話011-611-2033)

大竹 貞 さん

申込用紙に必要事項を記入して期限内に郵送してください。

# 運営委員会報告

今年度の第二回運営委員会が七月一日(金)午後六時半からクリスチヤンセンターで、会長以下役員合計十三人の出席により開催された

議題一：本年度例会として講演会およびポーランド料理講習会などを計画する事になった。詳細が決定次第にPOLLE誌上でお知らせします。なお、例会として適当な行事の案をお持ちの方は事務局長までお申し出ください。

議題二：ポ文協ポーランド訪問団について、会員の希望をまとめて別記のような詳細が決定された。多数の参加が望まれる。

議題三：ポーランド児童クリスマス装飾展示の計画について。ポーランドから送られてきた児童画等の内容を点検した結果、独立した展示会には内容不足なので、以前に展示した児童画など適当なものと一緒にして展示すること、あるいは真駒内教会と共同でクリスマスの時期に展示することなど考えることとし、展示会の早急実現は見送ることとした。

議題四：日本・ポーランド学術・文化フォーラムが、両国の学術・文化交流に関する情報収集、調査研究、企画、人材育成、日本におけるポーランド研究ポーランドにおける日本

研究の促進、「日本館」建設の促進などを目的に創設にされたことに対する対応。ポ文協からの理事就任を要請されていることについて、フォーラムの趣旨には賛成だが、ポ文協独自の活動が制約されることへの危惧があるとの議論があつた。さし当たり理事を送ることとし、その二年任期を経過した後に継続について再検討する事とした。理事の会費はポ文協で負担することとする。理事の人選は未定。

議題五：一九九四年度総会は十月中旬に開催することとし、ポーランド訪問団の成果報告を中心として懇親会を立案する。

議題六：後援事業について。運営委員の國田祐作さんから提案のあったクラクフ「日本美術センター」建設資金コンサートを協会の後援事業とすることを了承した(詳細別記)

夕日簿を  
お送りします

POLLE本号と一緒にポ文協の名簿をお送りします。間違ひがありましたら事務局長までお知らせください。  
電話(勤)706-6747(直通)

## 会費納入のお願い

ポ文協の年度は十月から翌年の九月までです。今期の年会費がまだの方は至急に納入してください。会費は普通会員年間二千円、維持会員一口五千元、団体会員一口三万円です。納入先は

郵便振替口座

小樽 4-19735

北海道ポーランド文化協会

振込銀行口座

拓銀本店普通預金口座

(店番)001(口座番号)605-084

北海道ポーランド文化協会

事務局長 吉田 宏

ポ文協後援

## ピアノリサイタル

アンジェイ・ワイダが得た京都賞を基金としてクラクフに「日本美術センター」の建設が進められています。その一助にと企画された音楽会です。

日時：一九九四年八月二十六日(金)

午後六時半

会場：札幌ルーテルホール

(大通西六丁目仲通り)

ピアノリスト：田隅靖子

曲目：ヤニヴィッチ、シマノフスカ、

シヨパン、ルトワフスキ、セ

ロツキ、バツエヴィツキ作曲

のポーランド・ピアノ作品

チケット：ポ文協会員は二千円

問合せ先：國田祐作

電話011-814-7284



「ポーレ」編集委員会

斎田道子・清水保子

吉田 宏

〔連絡先〕621-1738(斎田)

POLE 第 26 号(1994.7.6)目次

|  |   |
|--|---|
| 第 1 回ポーランド訪問団(1994.9.5～15)参加募集.....                    | 1 |
| 運営委員会(1994.7.1)報告、〈後援〉田隅靖子ピアリサイタル(1994.8.26)のお知らせ..... | 2 |